



アイゼット照明器具

省エネ高効率直付型器具

取扱説明書

保管用

灯 具 品 番	器 具 重 量	適 合 ラ ン プ (指定)
RLX-KU54101	4.0kg	TL5 HO Xtra 54W

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施 工 説 明 . . . 工事店様へ、この説明書は保守の為にお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。
- 器具を改造しないでください。感電・火災の原因となります
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災の原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

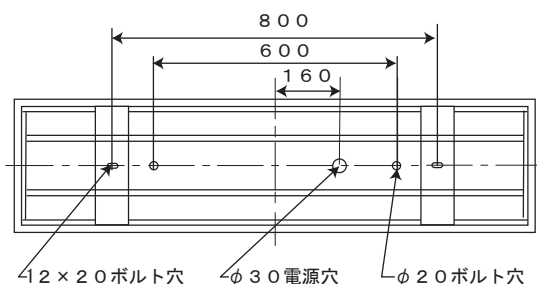
⚠ 施工上のご注意 施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

- 予め既設本体の外形寸法、ボルトピッチ、電源穴位置、電源線の長さ等をご確認ください。
 - この器具の入力電流は、100V～200V: 0.55A～0.27Aです。周辺機器の電気容量をご確認ください。
- ※不備があると感電・火災の原因となります。

各部のなまえと取付け手順

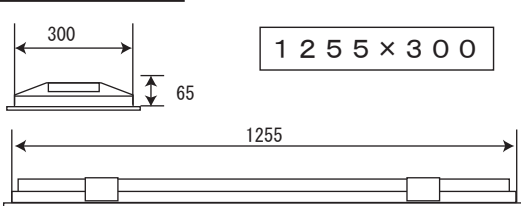
背面取付穴図

(単位mm)



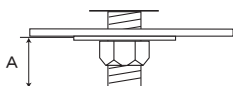
埋込穴寸法

(単位mm)



1. 器具の取付け準備

- ・埋込穴寸法を確認する。
- ※ **不備があると器具落下の原因となります。**
- ・器具重量（4.0kg）に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
- ・取付けボルトはW3/8またはM10を使用する。
- ※ **取付に不備があると器具落下の原因となります。**
- ・取付けボルトの器具内寸法（A）は20mmを越えないようにしてください。
- ※ **取付ボルトが出すぎると、反射板が取り付けられなくなります。**



2. 断熱材・防音材の施工方法（図1）

- ・電気配線は断熱材・防音材の上側にくるように配線してください。
- ・器具本体に電源線を接触させないでください。

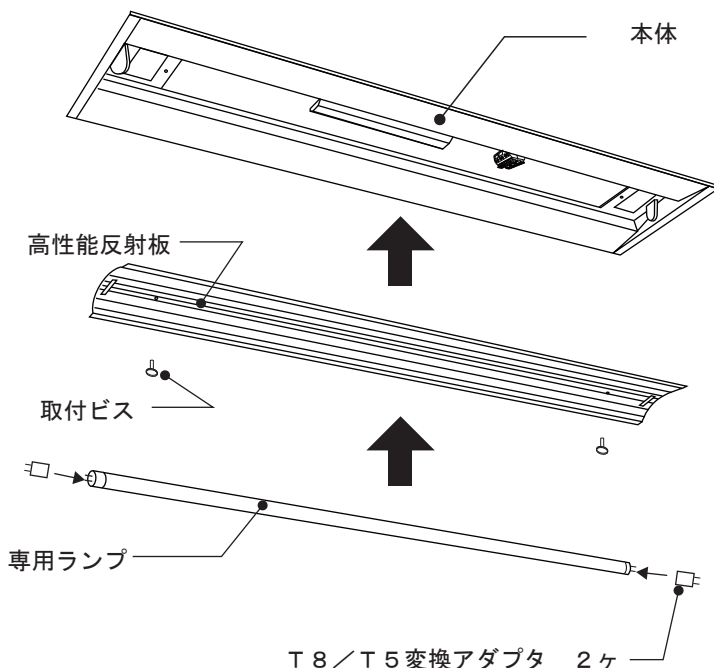
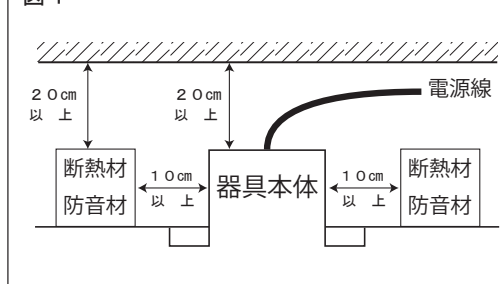


図1



3. 本体の取付け

- ・本体の電源穴から電源線・アース線を引き込む。
- ・器具本体を取付ボルトで天井に確実に取り付けます。

※取付けが不十分ですと落下の原因となります。

4. 電源線を確実に接続する（図2）

- ・電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかりと差込む。

※差込みが不十分ですと火災・感電の原因となります。

- ・電源線・アース線は電源端子台に接続後、反射板に当たらないよう処理する。
- ・アースはアース線接続穴を使用しD種接地工事を行う。
- ・解除する場合は、径または幅6mm以下のドライバーでリリースボタンを押して電源線・アース線をはずす。

※接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

5. 反射板の取付

- ・本体の開口部に反射板を確実にはめ込んでから、反射板取付ビス（2ヶ）を締め付けてください。

※取付けが不十分ですと落下の原因となります。

6. 専用ランプにT8/T5変換アダプタを装着する。

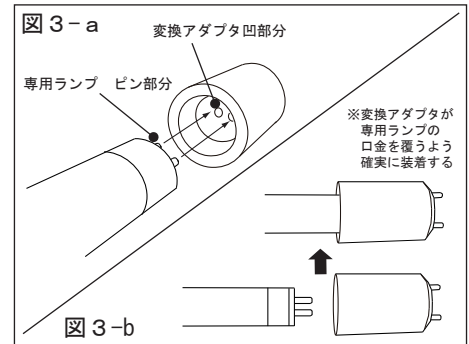
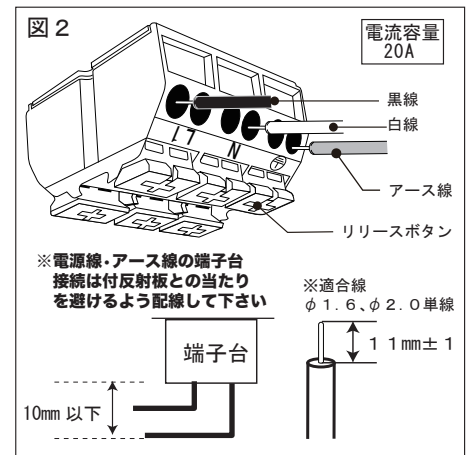
- ・専用ランプのピン部分を変換アダプタの凹部に確実にはめ込む。（図3-a）
- ・変換アダプタが専用ランプの口金を覆うまでしっかり装着されているか確認してください。（図3-b）

※取付けが不十分ですとランプ落下、不点灯の原因となります。

7. T8/T5変換アダプタを装着した専用ランプを取り付ける。

- ・可動側、固定側の順にランプを差込み90°回転させる。
- ・ソケットは回転式でランプを挿入後90°回転させるごとに固定・解除になります。

※取付けが不十分ですとランプ落下の原因となります。



使用上のご注意-電子式安定器内蔵型照明器具

●インバータと漏電ブレーカの組合せについて

- ・インバータは、従来の銅鉄安定器より高周波の漏洩電流が大きくなります。この為旧タイプの漏電ブレーカではトリップする場合があります。
- ・インバータ使用の場合は高周波対応型漏電ブレーカをご使用ください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
- ・雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。

●インバータを使用したときの雑音について

- ・インバータでは高周波でランプを点灯しており、商業周波数に比べランプからの放射雑音が多くなります。
- ・これらの雑音により音響・映像機器などに影響を与える場合があります。

○影響の程度は、器具台数、器具配置、AV機器の種類により異なりますが、一般的に考えられる問題点及び対策方法は次のとおりです
インバータの周波数は、JIS C8117 及び（財）家電製品協会に定められている「基本周波数及びその高周波が3.3kHz未満又は4.0kHz超」を使用しています。

(1) ラジオへの雑音

- ・受信電波が弱い場合には雑音が入る場合があります。ラジオを器具から十分離し、短波放送では室内アンテナをご使用ください。

(2) 音声・映像信号への雑音

- ・放送設備などの音声信号や映像信号は微弱な為、電源線や安定器の二次側配線からの雑音を受けることがあります。音声・映像信号はシールド線を用いて配線するか、信号線と電源線や、安定器の二次側配線とは十分距離を離して施設してください。また、機器のアースは必ず取って使用してください。

(3) 赤外線式リモコンとの干渉

- ・赤外線式のリモコンを利用した機器とは、昭和60年4月以降使用する周波数をわけており通常使用状態では問題なく使用できますがランプがリモコン受信部に近すぎる場合には、誤動作や非動作がおきる場合があります。リモコンの受信部には、できるだけランプの光が入らないよう配慮してください。

(4) ワイヤレスマイクへの雑音

○使用条件により雑音が入る場合がありますので、下記の事項に注意して施工してください。

- ・アンテナとマイクの間金属物、柱などの障害物を置かない（輻射電波を直接受信できる位置にアンテナを設置する）
- ・アンテナの指向性をマイク感度のとれる方向に置く ・アンテナの位置をランプから離す ・マイクの出力を上げる

(5) OA機器に対する影響

- ・一般的な使用条件においてOA機器にある部屋でインバータを使用しても問題はありますが、使用する機器が電波雑音に弱い場合や、照明器具のすぐ近くに機器を設置される場合には事前に組合せ評価することをお奨めします。雑音に弱い場合や、照明器具のすぐ近くに機器を設置される場合には事前に組合せ評価することをお奨めします。

(6) ワイヤレス電話に対する影響

- ・小電力形の問題ありませんが微弱電波形のものでは雑音が入る場合があります。
- ・微弱電波形の電話を使用する場合には事前に組合せ評価することをお奨めします。

(7) 誘導無線との干渉

- ・使用周波数がインバータの周波数と近い附周波誘導無線（同時通訳機等）の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをお奨めいたします。

(8) 商品監視システムに対する影響

- ・商品監視システム（防犯センサー等）の1部の機器については、インバータの周波数と干渉して商品監視システム（防犯センサー等）が誤動作する場合がありますので、事前によくご確認の上ご使用ください。

(9) 電力線搬送を使用した機器に対する影響

- ・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、機器が正常に作動しない場合があります。電源を分けてご使用ください。

●ランプ使用上のご注意

- ・10℃以下の環境では点灯や明るくなるまでに時間がかかったり、ランプに移動縞（スネーク現象）がでる場合があります。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

取 扱 説 明 ・ ・ ・ お客様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具を造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

- ランプのお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は、社団法人日本器具工業会作成の『安全チェックシート』に基づき自主点検してください。3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ※点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

お手入れ・ランプ交換 必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

■ランプのお手入れ

●ランプ交換は必ず適合ランプを使用してください。 **交換ランプ TL5 HO Xtra 54W**



ランプお手入れの際は、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってから拭取り、さらに乾いた布で拭いて仕上げてください。化学ぞうきんを使う場合は、その注意書にしたがってください。
※点灯中や消灯直後はランプが高温となっていますので、手をふれないでください。やけどの原因となります。
※お手入れなどでランプをはずし、再度取り付ける場合は、本書の取り付け手順-5をよく読みランプを確実に取付けてください。取り付けに不備があると落下の原因となります。

■高性能反射板のお手入れ



光沢面保護のため、洗浄にはうすめの中性洗剤および水を使用し、研磨粒子の入っていないスポンジ等で軽く拭き取ってください。
※高性能反射板のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります。
※お手入れなどでランプをはずし、再度取り付ける場合は、本書の取り付け手順-6及び7をよく読みランプを確実に取付けてください。取り付けに不備があると落下の原因となります。



みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。また反射板の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。
※高性能反射板のお手入れの際は必ず手袋を着用してください。ケガ、汚れの原因となります。

保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より6年間です。
- ※詳細は販売店、又は各営業所にお問い合わせください。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

商品についてのご相談お問い合わせは、器具本体表示の品番、又は型名をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは右記へご連絡ください。

本 社 / 〒399-4511

長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1

TEL: 0265-71-8822 (代)

FAX: 0266-71-8800

■ホームページアドレス

<http://www.iz-inc.co.jp/>



株式会社アイゼント

取説 No. IZ0084K10-101124